

## 【議案第1号】

### 平成16年度北海道遺産構想推進協議会事業報告

#### 1 事業概要

平成16年度においては、前年度に募集した北海道遺産第2回選定候補について、選定専門委員が中心となり、地域の意向や取組状況を確認しながら選定作業を進め、10月に新たな27件を選定しました。これにより北海道遺産は、平成13年秋の第1回選定分25件と併せて合計で52件となりました。

当協議会では、第2回の選定作業 北海道遺産の普及啓発活動 選定された地域の活動促進支援 を展開するとともに、第2回選定の過程において、多くの地域の宝物が確認されたことなどから、全道各地での地域資源を発掘し活用するさらなる取組に期待し、「ムラの遺産（仮称）」の検討に着手したところです。

北海道遺産に選定された地域では、フォーラムやパネル展などの開催により遺産に対する理解を深めるとともに、広くPR活動を展開するほか、地元におけるボランティアガイドの養成やツアー誘致、特産品の開発、行政と市民の協働によるまちづくりなど、個性豊かな取組が進められています。

また、「北海道遺産応援団」を始めとする民間企業・団体からも様々なご協力をいただき、報道や雑誌掲載、イベントなど多くの北海道遺産のPRの場を得ることができ、さらには、それぞれの企業活動においても、北海道遺産をテーマとした商品開発も進められています。

こうした地域、民間企業、個人が一体となった様々な取組に支えられ、北海道遺産構想は、道内外からの関心も徐々に高められ、北海道の新たな魅力の一つとして、北海道の活性化に向けて歩み出したところです。

## 2 実施事業

### (1) 北海道遺産第2回選定

北海道遺産第1回選定25件(平成13年10月)に加え、平成16年10月に第2回選定を行い、新たに27件を決定、公表しました。

選定に当たっては、平成15年度に募集し寄せられた1311件の候補を基に、本協議会に設置した遺産選定専門委員会において、1次選定、2次選定を行い、その結果を広く公表し、道民意見の募集や現地調査を行いました。こうした手順を踏み、地域の活動や思いを確認しながら選定作業を進めたもので、最終候補を理事会、総会に提案し決定されました。

北海道遺産は合計で52件となり、これをもって一定の完成形となりましたが、今後の地域の取組状況や機運の盛り上がり等を見極めながら、必要に応じて小規模な追加選定の余地を残すこととしています。

#### 遺産選定専門委員会の開催

- ・ H16.7.1 ポールスター札幌
- ・ H16.10.2 道庁会議室
- ・ H16.10.12 道庁会議室
- ・ H16.10.16 道庁会議室
- ・ H16.10.21 遺産協議会事務局

#### 第1次候補に係る基礎調査の実施(H16.4月)

- ・ 第1次候補352件(H16.3月決定)について、関係自治体に調査票を送付し、所有者の意思確認や地域の活動などを把握した。

#### 第1次候補に係る道民意見募集(H16.4.1-5.31)

- ・ 第1次候補352件を公表し、道民の思いや活用のアイデアなどを募集した。  
<新聞広告全5段:4/4 道新、4/29 読売>
- ・ 応募総数 1,309 通

#### 第2次候補に係る現地調査の実施(H16.8.7-9.29)

- ・ 第2次候補72件(H16.7.23決定)を対象に、選定専門委員による現地調査を実施した。  
<H16.8.7-9.29 現地調査68カ所>

#### 決定・公表

- ・ 理事会(H16.10.20/ポールスター札幌)
- ・ 総会(H16.10.22/ポールスター札幌)
- ・ 記者発表(H16.10.22/道庁記者会見室/越野選定専門委員長、辻井会長)  
(この他、各支庁記者クラブ、レジャー記者クラブ、旅行記者クラブに資料を提供)

#### 北海道遺産第2回選定の決定・公表まで

H15.6-12	北海道遺産候補の募集(1,311件)
H16.1-3	第1次選考作業 遺産選定専門委員会による議論 第1次候補の決定・公表(352件)
.....	
H16.4-6	第1次候補の基礎調査 所有者等の選定意志確認など 道民意見募集 遺産を生かすアイデアなど
H16.7	第2次選考作業 遺産選定専門委員会による議論 第2次候補の決定・公表(72件)
H16.8-9	第2次候補の現地調査 地域住民の熱意と実行力の確認など
H16.10	最終選考作業 遺産選定専門委員会による議論 最終候補の決定(27件) 理事会・総会開催、北海道遺産の決定

### (2) 普及啓発活動

北海道遺産構想の趣旨や北海道遺産を核とした地域づくりの取組などを広く情報発信するため、情報誌など各種のPR資材を作成するとともに、北海道の魅力を紹介する様々なイベントに参加するなど積極的にPR活動を展開しました。特に第2回選定結果の公表後は、新しい北海道遺産に対する関心も高まっており、新しいリーフレットなどの資材の作成をすすめ、効果的な普及啓発活動に努めました。

### 第3回北海道遺産 絵手紙・写真コンクールの実施

多くの方々に北海道遺産を訪れ、親しんでいただくため、北海道遺産を題材とした絵手紙・写真コンクールを実施した。第2回選定分の決定後は、新しい北海道遺産も対象とした。

- ・募集期間：平成16年4月1日～12月27日
- ・募集：募集チラシの作成 2万枚、公募ガイドなどへの掲載
- ・応募総数：絵手紙部門127点、写真部門120点、携帯写真部門87点
- ・審査員：絵手紙部門 渡辺 俊博 氏、能登谷千恵子氏  
写真部門 綿引 幸造 氏、後山 一朗氏  
携帯写真部門 NTTドコモ北海道審査員チーム
- ・入選作品：各部門30点（グランプリ各1点、金賞各2点、銀賞各2点）自治体賞4点
- ・展示会：2月10日（木）～13日（日） 道庁赤れんが庁舎  
3月18日（金）～20日（日） JR札幌駅西口コンコース

### 北海道遺産PR用リーフレットの作成

- ・第2回選定後、北海道遺産52件を紹介するリーフレットを新たに作成し広く配付した。  
A4判 カラー8ページ  
11月：2万部作成 3月：2万部作成

### パネルの制作

- ・第2回選定後、新たに加わった北海道遺産のパネルを制作した。  
31枚（第2回選定分27枚、第1回選定分の追加2枚、基本パネル2枚）
- ・「北海道遺産展」を機に、北海道遺産を紹介する基本パネル（「北海道遺産とは」「分布図」）について、大型パネルを制作した。

### 情報誌VOL6の発行（3月・1万5千部）

- ・第2回選定分27件を中心に、北海道遺産の魅力を紹介する「情報誌VOL6」を作成し、会員や市町村、民間企業など広く配付した。
- ・今後の事業化（販売など）の可能性を検討するため、配付にあたりアンケート調査を実施した。

### ホームページのリニューアル

- ・第2回選定後、協議会ホームページをリニューアルした。
- ・絵手紙写真コンクールに携帯写真部門を新設したことに伴い、北海道遺産携帯サイトを開設した。

「北海道遺産展」の実施及び各種イベントへの参画（ は協議会の単独開催）

「北海道遺産展」(6/12-6/27 さっぽろ赤レンガカフェ)

6/4 に道庁赤れんが庁舎前にオープンした「さっぽろ赤レンガカフェ」における第1回目の企画展示として出展。北海道遺産パネル展示、パンフレット類の配付、遺産関連グッズの販売

「花フェスタ 2005」(6/26-7/4 札幌大通公園)

6丁目広場において北海道遺産ブースを設置し、パネル展示、遺産関連グッズの販売（絵はがき、ラワンぶきなど）。ステージで北海道遺産クイズを展開。

「北海道&福島県交流200年」(7/17、7/19-7/25 福島県会津若松市)

北海道と福島県の交流200年事業として実施したシンポジウムと特別企画展において、北海道遺産パネル、ラワンぶき（実物）を展示。

「女性知事リレーフォーラム in ほっかいどう」(7/23 かでる2.7)

4道府県の女性知事によるフォーラムの開催にあたり、会場ロビーで北海道遺産パネル展を実施。リーフレット及びツアーパンフレットを配付。

「赤れんがフェスタ」(7/23-8/1 北海道庁赤れんが庁舎)

毎年夏に赤れんが庁舎で実施するイベントにおいて、北海道遺産パネル展示、リーフレット、ツアーパンフレット、各地域のパンフレットを配付。ビデオの放映。北海道遺産バスの展示(7/26,7/27 赤れんが前庭)

北海道フェア「うまいっしょ北海道」(7/31-8/29 京王プラザホテル(西新宿))

京王プラザホテルが主催する北海道の食、物産をテーマとした企画にあたり、ロビーで北海道遺産パネルを展示。遺産リーフレット、ツアーパンフ、各地のパンフの配付。遺産関連グッズ(ポストカードなど)の販売。

住友信託銀行「北海道遺産パネル展」(9/1-9/30 住友信託銀行ロビー)

住友信託銀行の協力を得て、ロビーに北海道遺産パネルを展示。

「フードランド北海道フェア」(9/10-9/12 札幌大通公園)

6丁目広場において「北海道関連ブース」を設置し、北海道遺産パネル、第2回絵手紙写真コンクール入選作品の展示、ビデオの放映。

「おとなの文化祭 2004」(9/22-9/23 札幌コンベンションセンター)

北海道新聞社の協力を得て、会場ロビーにおいて北海道遺産パネルの展示、遺産リーフレットの配付。

「北海道物産展」(9/22-9/29 宇都宮東武百貨店)

宇都宮東武百貨店主催の「北海道物産展」において、第2回絵手紙・写真コンクール入選作品の展示。開催期間中、栃木放送のラジオ番組に電話出演し北海道遺産をPR。

「北海道遺産パネル展」(9/24-10/3 中央バスターミナル)

中央バスターミナル2階で、北海道遺産パネルを展示。炭鉱遺産をテーマとした五島健太郎写真展と同時開催。

「2004 北海道フェア in 代々木」(10/9-10/11 東京都代々木公園)

首都圏を対象に北海道の観光、物産、魅力を紹介するイベントにおいて、北海道遺産ブースを設置し、北海道遺産パネル展示、遺産パンフ配付、ビデオ放映、関連商品の販売(ポストカード、ガラナ)。イベントスクエアでの北海道遺産クイズ、「昭和新山雪合戦」体験コーナー、ラーメン横丁などの企画を通じた会場全体での北海道遺産PRを展開。(オープニングの北海道遺産クイズは雨天中止)

横浜そごう「北海道物産展」(10/26-11/3 横浜そごう)

横浜そごうが主催する「北海道物産展」において、第2回選定結果を含めた北海道遺産のパネル展を実施。遺産パンフの配付、ビデオ放映。(第2回選定分の大パネルを主催者側で作成)

「北海道遺産展」(11/13-14 北海道庁赤れんが庁舎)

第2回選定を機に、北海道遺産52件を紹介するパネル展を開催した。

「北海道遺産展」(11/15-11/17 道庁1階ロビー)

第2回選定を機に、北海道遺産52件を紹介するパネル展を開催した。

住友信託銀行「北海道遺産パネル展」(1/11-1/28 住友信託銀行)

ロビーにおいて北海道遺産パネルを展示。

「第4回全国産業観光フォーラム in さっぽろ2005」(2/7 札幌コンベンションセンター)

産業観光をテーマとし全国各地で開催するフォーラムの札幌開催において、会場ロビーで北海道遺産パネルを展示。分科会などにおいて北海道遺産に選定された地域などが事例発表を行った。

「2005冬北海道遺産 雪だるま大作戦」(2/5-2/13 北海道庁赤れんが庁舎前庭)

さっぽろ雪祭りなどに訪れる観光客や、北海道民に広く北海道遺産を紹介するため、「スノーメモリアル チャレンジ ザ ギネス雪だるまづくり2005」と連動し、52件の北海道遺産を紹介する52個の雪だるまを制作し、PRを行った。

「次の世代へ - 北海道の宝物『北海道遺産展』」(3/18-3/20 JR札幌駅西口コンコース)

北海道遺産構想の趣旨や、個々の北海道遺産、民間企業の取組などについて、道内外に紹介するため、JR札幌駅西口コンコースにおいて、パネル展を行った。

- ・パネル展、第3回絵手紙・写真コンクール入選作品の展示、VTRの放映
- ・北海道遺産リーフレット、各地のパンフレット、ツアーパンフレットの配付
- ・地域プロモーション:「旭橋」「天塩川」~3/18 「北海道の馬文化」~3/19、  
「空知の炭鉱関連施設」~3/20
- ・北海道新聞3/18付け朝刊で別冊16ページの北海道遺産大特集が企画されたことから、北海道新聞のご協力により、掲載紙600部を配付した。

### (3) 地域活動促進支援事業

#### 認定証授与式の実施 / 北海道遺産交流会議の実施

北海道遺産所在地の担い手団体、応援団企業、北海道遺産関係者が一堂に会し、北海道遺産（第2回選定）に選定された担い手団体に対する「認定証授与式」及び今後の北海道遺産構想の展開方策などを確認し、関係者の交流を深めるため、「北海道遺産交流会議」を実施した。

##### 認定証授与式

日時 平成16年11月12日（金）13時～  
場所 北海道庁赤れんが庁舎2階1号会議室  
内容 辻井会長挨拶、認定証授与、祝辞（道副知事）

##### 北海道遺産交流会議の実施

日時 平成16年11月12日（金）14時15分～  
場所 北海道庁赤れんが庁舎2階1号会議室  
内容 ・北海道遺産の概要  
・第1回選定地域からの事例発表（空知炭鉱施設、アーチ橋友の会）  
・応援団企業の取組（C B ツアーズ、太陽財団、宝酒造、北酒連）  
・北海道遺産の活用について（北海道遺産構想推進協議会 臼井理事）

##### 交流会

日時 平成16年11月12日（金）17時30分～  
場所 京王プラザホテル札幌「ペガサス」  
内容 辻井会長挨拶、アイヌ口承文芸披露（平取町）  
乾杯（ピアソン会 水津会長）

#### 北海道遺産の所在地間ネットワークの形成

北海道遺産の所在地同士の情報共有を図り、相互交流により効果的な取組を展開できるよう、協議会と各地域の担当者とのネットワーク「北海道遺産メーリングリスト」を運営するとともに、地域情報を含めた最新情報についてHPなどを利用し発信した。

#### アドバイザーの派遣等

北海道遺産の所在地等に協議会正会員などを派遣して、保全・活用の取組状況などを確認するとともに、必要なアドバイスを行った。

- ・下川町「しもかわ学会」参加（5/10 下川町 / 辻井会長）
- ・増毛小学校「木・音・人 - ふれあいコンサート」参加（6/26 増毛小学校 / 事務局）
- ・北海道遺産石狩川歴史・文化伝承事業 鮭地引網実演（9/18 石狩川河口 / 事務局）
- ・JR鉄道の日イベント「北海道遺産セミナー」参加（10/16 岩見沢レセンター / 事務局）
- ・「北海道カヌーデー『天塩川からの発信』」（11/14 ホールスタ-札幌 / 辻井会長）
- ・土の博物館「土の館」（12/18 上富良野町 / 合田選定専門委員、事務局）
- ・野付半島と打瀬舟「講演会」（12/14 別海町 / 辻井会長）
- ・ラーメン応援団の設立（1/21 札幌市 / 永井副会長、臼井理事、事務局）
- ・北海幹線用水路（3/24 岩見沢市 / 辻井会長、事務局）
- ・赤平青年会議所まちづくり研究（3/24 赤平市 / 事務局）

#### (4)「ムラの遺産(仮称)」の活用促進

北海道遺産第2回選定の過程において、北海道に存在する多くの宝物が存在することが明らかになったことから、北海道遺産に選定されたか否かに関わらず、地域資源を守り、育て、活用しながら地域づくり、人づくりを展開していく取組が、地域主体で起こっていきけるようその方策の検討に着手しました。

また、北海道遺産構想が、こうした「ムラの遺産(仮称)」を活用し地域への愛着と誇りの醸成や地域経済の活性化につなげる運動であることを広く普及し、機運の醸成を図るため、記者発表や各種の北海道遺産特集における会長インタビューなどにおいてその考え方を説明しています。

#### (5)協議会の運営について

##### 総会、拡大総会の開催

###### 第1回総会

- ・日時 平成16年4月16日(金)14:30-
- ・場所 豊平館
- ・内容 平成15年度事業報告、収支決算及び監査報告、平成16年度事業計画(案)、収支予算(案)について審議した。

###### 拡大総会

- ・日時 平成16年4月16日(金)16:30~
- ・場所 豊平館
- ・内容 北海道遺産構想推進協議会会員と応援団企業などが参集し、北海道遺産の現状と今後の展開について意見交換を行った。

###### 第2回総会

- ・日時 平成16年10月22日(金)
- ・場所 ポールスター札幌
- ・内容 北海道遺産選定専門委員会から提出のあった第2回選定分の案について審議し、27件を決定した。

##### 理事会の開催

###### 第1回理事会

- ・日時 平成16年4月17日
- ・場所 豊平館
- ・内容 平成16年度総会議案について確認した。

###### 第2回理事会

- ・日時 平成16年10月20日
- ・場所 ポールスター札幌
- ・内容 北海道遺産選定専門委員会から提出のあった第2回選定候補について審議し、総会議案を決定した。

##### 賛助会員の募集

- ・北海道遺産賛助会員について募集し、会員に対して情報誌などを配付した。

#### 「北海道遺産応援団」について

##### 新規加入

北海道遺産応援団として、「株式会社 竹中工務店北海道支店」及び「ロッテスノー株式会社」が11月に新規加入した。

##### 応援団企業に係るPR

協議会が作成する各種PR資材などに「北海道遺産応援団」参加企業・団体について積極的に紹介した。

- ・「第3回北海道遺産 絵手紙写真コンクール」作品募集チラシ
- ・北海道遺産リーフレット
- ・情報誌VOL6号
- ・北海道遺産応援団パネルを作成し、各種パネル展で掲示
- ・ホームページにおける掲載及び各企業・団体のホームページへのリンク

##### その他（収益事業）

北海道遺産に関連するグッズなどを各種イベントなどを活用して販売した。

- (ア) ポストカードの販売
- (イ) 花フェスタにおける北海道遺産関連商品の販売
- (ウ) ビデオの販売



## 民間企業・団体のご協力による北海道遺産構想の推進(平成16年度分)

### 各種メディア・機関誌における「北海道遺産」

#### テレビ等映像系

- ・ N T T ドコモ北海道提供「北海道遺産物語」(HTB 毎週土曜日 22:51~)
- ・ 「竹中直人のスローライフな旅~北海道遺産物語 SPECIAL」(7/27 HTB19:00~、BS 朝日ほか)
- ・ Tvh「経済ナビ」で北海道遺産を特集(6/19 9:30~ 30分間)
- ・ 道の広報番組「ほっかいどう」(12/5 HBC 6:30~15分間)で第2回選定結果を紹介
- ・ 道の広報番組「ほっかいどう NOW」(9/17 伊佐治知子さん~炭鉱、2/18 谷歩さん~馬文化、3/18 戎谷侑男さん~ツアー UHB 22:52~3分間)において北海道遺産でがんばる「人」を紹介

#### ラジオ等

- ・ 宝酒造株式会社CM内での紹介
- ・ コミュニティFM「さっぽろ村」に出演(9/2 60分程度)で第2回選定経過を紹介
- ・ 栃木放送(9/25)で北海道遺産を紹介
- ・ 道の広報番組「サタデーアイ北海道」(6/19HBC ラジオ 11:35~)で炭鉱遺産の取組を紹介

#### 新聞(特集記事・広告)等

- ・ 北海道新聞 全日本広告連盟札幌大会記念特集号(5/20朝刊 見開き2P)
- ・ 北海道新聞 「小学生新聞フムフム」(5/19夕刊 増毛小学校)
- ・ 北海道新聞 「選ばれし27件」(11/28朝刊 1P)
- ・ 北海道新聞 第2回選定27件の紹介(2/12朝刊 見開き2P)
- ・ 北海道新聞 「北海道未来への架け橋 北海道遺産」(3/18朝刊別冊16P特集)
- ・ 読売新聞 北海道支社発行45周年特集「世界遺産と北海道遺産」(4/29朝刊別冊)
- ・ 読売新聞 第2回選定27件の紹介(11/29朝刊見開き2P)
- ・ 読売新聞 連載「北海道遺産」(2/2より毎週水曜日夕刊)
- ・ 朝日新聞 第2回選定27件紹介(2/24朝刊見開き2P)
- ・ 札幌タイムス 北海道遺産52件の紹介(随時)
- ・ 札幌タイムス 北海道遺産の旅同行記(6/12,8/31)
- ・ 中道リース(株)新聞広告(日経新聞毎月1回日曜日「北海道遺産シリーズ」)
- ・ プロミス新聞広告に北海道遺産応援団ロゴの掲載(随時)

\*この他、報道各社には、随時、北海道遺産について報道していただきました。

#### 各種雑誌、機関誌

- ・ JRグループ「ジバング倶楽部会報」(2005,3月号、4月号)
- ・ じゃらん「おとなのいい旅北海道」(2005.3.15発行 2005春~初夏号)北海道遺産特集 10P
- ・ まっふるマガジン「北海道 2005-06」北海道遺産綴じ込みMAP
- ・ るるぶ社「Visita 北海道」(2004.7.1発行)北海道遺産 1P

- ・ まっぷる「ベストドライブ北海道」(2004.5.1 発行) 北海道遺産 2 P
- ・ バイクで回る「ツーリング GO!GO! 北海道」(2004.6.6 発行) 北海道遺産の紹介 2 P
- ・ 「モーターサイクリスト 北海道」(2004.7.1 発行) 北海道遺産の紹介 2 P
- ・ HAC 機内誌(2004.12-2 月搭載号、2005.3-5 月搭載号) 北海道遺産シリーズ
- ・ 北海道観光連盟発行の各種の観光パンフレットで紹介(日本語、英語、中国語)
- ・ 北海道観光連盟発行「北の観光フィールド 北海道修学旅行ガイド」(2005.2 月)で紹介
- ・ 近畿日本ツーリスト「旅の友」(中部東海版 6 月号) 北海道遺産紹介 1 0 P
- ・ DO MAP 制作「ドウ ウェイ ホッカイドウ」で地図上に北海道遺産を紹介
- ・ バス社内誌「BUS STOP 遊 ing 北海道夏」(2004.6.15) で太陽地域づくり財団が北海道遺産を紹介
- ・ 北海道経営者協会機関誌表紙写真(毎月号)
- ・ 北海道農業共済組合連合会会報「NOSAI」表紙写真(毎月号)
- ・ 北海道倶楽部機関誌で連載
- ・ 北海道空調衛生工事業協会機関誌「きらめき」で連載
- ・ ドーコン機関誌表紙写真
- ・ 自治労組合員向け情報誌「OPA」で連載
- ・ 財団法人市町村振興協会「北海道 2 1 2 インフォメーション」(2004.10 発行) 2 P
- ・ 「しゃりばり」2004.5 月号 「特集北海道遺産を生かす」1 9 P
- ・ 「道友」
- ・ 富士通機関誌「ファミリー 299 号」(2004.6.20 発行) 北海道遺産 2 P
- ・ 「コンストラクション アイズ」で北海道遺産を連載
- ・ 道の広報誌「ほっかいどう」(新春号)で北海道特集 6 P

#### インターネット他

- ・ 「北海道遺産物語」(NTTドコモ北海道のHPで放映)
- ・ 「北海道遺産物語」携帯電話サイトの開設
- ・ 北海道のメルマガ「DO RYOKU」の豆知識コーナーで北海道遺産をシリーズ化(毎月第 4 金曜発行分)
- ・ インターネットラジオ「千代子のすすきのこぼれ話」(毎月北海道遺産を紹介 ~ 2004.10 まで)
- ・ 北海道観光連盟のHP「まるごと北海道」で連載
- \* この他、応援団企業・団体のホームページにおいて北海道遺産を紹介していただいています。

#### その他

- ・ さっぽろ雪まつりにおいて、宝酒造提供『北海道遺産「開拓使時代の洋風建築」から時計台』の氷像が登場(2/7-2/13 すずきの会場「氷の祭典」)
- ・ (株)竹中工務店北海道支店の工事現場仮囲いを活用した北海道遺産のPR(札幌駅西側紀伊国屋書店、札幌市東区北電グループによる健康センター、函館市朝市)
- ・ (社)北海道バス協会発行のバスガイドマニュアルの改訂にあたり、北海道遺産を掲載
- ・ ふるさとCM大賞(NHK札幌放送局、北海道新聞社、北海道主催)における会場での北海道遺産のCM
- ・ 北海道が発行するミニ公募債「はまなす債」(H16.6 発行)、「たんちょう債」(H16.12 発行)の購入者へのカードに北海道遺産を紹介。

## 北海道遺産をテーマとした商品開発

### 北海道遺産をめぐるツアー

- ・ シーピーツアーズ(中央バスグループ)「北海道遺産バスの旅」(H16年度15コース+冬のコース、H17年度29コース)、北海道遺産ペイントバス、北海道遺産スタンプラリーの実施
- ・ JR北海道・鉄道の日イベントとして「北海道遺産講演会」(10/18 JR 岩見沢レポート)、「北海道遺産ツアー」の実施
- ・ JR北海道バス「北の未来へつづく北海道遺産」、北海道遺産をテーマとした修学旅行の実施
- ・ JTB「ハイヤー紀行北海道」、東京、大阪発各種ツアーで北海道遺産をめぐるコースを設定
- ・ その他、近畿日本ツーリスト、阪急交通など旅行各社による北海道遺産をめぐるツアーの商品化

### 絵入り葉書「北海道遺産シリーズ」3種

日本郵政公社北海道支社から、ふるさと切手「北海道遺産」に引き続き、平成16年5月、絵入り葉書「北海道遺産シリーズ」3種(7枚セット)が発売。

### 酒・ワイン「北海道遺産シリーズ8種」、コアップガラナ3種、サッポロクラシックなど

- ・ (株)北酒連が北海道遺産の所在地の地酒メーカーとタイアップし、その地の北海道遺産のイラストをラベルにしてH15年度に引き続きH16年度も発売。(国稀：増毛の歴史的建物群、千歳鶴：北大第2農場、北の誉：小樽みなとと防波堤、北海道ワイン{赤・白}：石狩川、函館ワイン{赤・白}：路面電車、函館山と砲台跡)
- ・ コアップガラナに北海道遺産イラストをラベルにした3種を発売(路面電車、北大第2農場、摩周湖)
- ・ サッポロクラシック(350ml缶)に北海道遺産版を発売

### 焼酎「ZIPANG」北海道遺産シリーズ(全7種)

- ・ ボトルの小窓を覗くと北海道遺産が見えるシリーズに、平成15年度発売の「摩周湖」「福山城(松前城)と寺町」に加え、平成16年度は「姥神大神宮渡御祭」「旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群(2種)」「静内の二十間道路桜並木」「森林鉄道『雨宮21号』」を発売

### うたしないワイン(3種)

太陽グループが発売する「うたしないワイン」(赤、白、ロゼ)のラベルで北海道遺産をPR

### カルチャーセンターにおける「北海道遺産」関連講座の開講

- 「旧国鉄土幌線アーチ橋とラウンブキ」(NHK文化センター)
- 「炭鉱遺産とその歴史」(道新文化センター 3回シリーズ)

## 財団法人 太陽北海道地域づくり財団による地域活動への支援

平成 13 年 12 月に設立された「財団法人太陽北海道地域づくり財団」によって、北海道遺産を活用した取組みや、各地域の宝物を活用したまちづくりに対して、助成が行われています。

### 【H16 年度助成一覧（13 件のうち北海道遺産関連のみ掲載）】

- ・ そらち炭鉱遺産散歩キャンペーン「アートな立坑」の展開（産業遺産を活かす地域活性化実行委員会）
- ・ 昭和新山国際雪合戦観戦・体験プログラム開発事業（昭和新山国際雪合戦大会実行委員会）
- ・ 姥神大神宮渡御祭の山車「金剛山」人形鎧作成事業（金剛山保存会）
- ・ 北海道有形民族有形文化財指定神功山御首修復（神功山保存会）
- ・ 国鉄土幌線跡・旧糠平駅での鉄路再現調査事業（NPO ひがし大雪アーチ橋友の会）
- ・ 2004「木・音・人 - ふれあいコンサート」(木・音・人 - ふれあいコンサート実行委員会)

### 【H17 年度助成一覧（16 件のうち北海道遺産関連のみ掲載）】

- ・ モール温泉夢ボタルの生態系・自然環境の再生整備とPR（十勝川温泉観光協会）
- ・ 「空知産業生活写真集」刊行事業（空知地方史研究協議会）
- ・ かがやけコトニ～屯田兵の里まつりの開催（かがやけコトニ実行委）
- ・ （仮称）北限のブナ林北海道遺産選定記念事業（同実行委員会）
- ・ 食の北海道遺産『ジンギスカン』普及拡大プロジェクト（ジンギスカン食普及拡大促進協議会）
- ・ （仮称）煉瓦建造物保存活用パンフレットの制作（NPO 法人やきもの21）
- ・ 宗谷丘陵地区での周氷河地形を活かした自然活用型、体験型事業の展開（社団法人畜産開発公社）
- ・ 道産子を用いた馬そりの復活プロジェクト（有限会社ランランファーム）